

「第9回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」開催のご案内

インフラ・ライフライン減災対策に関わる最新の研究動向や実務における取り組み事例等を、研究、開発、設計、施工に従事する研究者・技術者、事業者および自治体職員等の間で広く情報共有をはかることを目的として、標記シンポジウムを開催することといたしましたので、ふるってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 主催-----土木学会・地震工学委員会 ライフラインに係わる都市減災対策技術の高度化に関する研究小委員会
共催-----琉球大学島嶼防災研究センター
断層変位を受ける地中管路の設計手法に関する研究小委員会
AI・IoT 技術の地震工学への有効活用検討小委員会
- 日時-----2019年1月11日(金) 9:25~18:30, 1月12日(土) 9:00~13:00
- 場所-----琉球大学50周年記念館(1/11), 琉球大学地域創生総合研究棟1階多目的室(1/12)
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
- 費用-----6,000円(シンポジウム論文集1部込)
- 問合せ-----土木学会事務局 研究事業課 ライフラインシンポ担当 TEL:03-3355-3559
- プログラム(発表9分, 質疑応答3分)

1月11日(金) 琉球大学50周年記念館

9:25- : 開会の挨拶 鈴木崇伸 委員長

9:30-10:42: セッション1 座長: 庄司学

- | | |
|------|--|
| 劉ウエン | ALOS-2 衛星 SAR 画像を用いた 2018 年北海道胆振東部地震における液状化被害の検出 |
| 松岡昌志 | 熊本地震における PALSAR-2 画像の InSAR 解析による地盤変位とガス導管被害の関係 |
| 畠山大治 | 2016 年熊本地震における下水道埋設管路被害と地表断層変位との関係 |
| 乾太一郎 | 耐震補修弁の弁筐衝突実験による耐震性能検証 |
| 奥津大 | 熊本地震における益城での通信管路の被災分析 |
| 伊藤陽 | 熊本地震における通信用硬質ビニル管の敷設形態から見た被害傾向分析 |

10:50-12:02: セッション2 (AI・IoT) 座長: 北原武嗣

- | | |
|-----------------|--|
| 宮本崇 | 震災前後の衛星撮影画像を入力とした深層学習モデルによる地震被害の判別 |
| Ashish Shrestha | Bridge vibration status realization method using deep learning and smart devices |
| 内藤昌平 | 航空写真の深層学習による建物被害判別手法を用いたリアルタイム被害推定情報の更新
及び利活用に向けた調査 |
| 王路遥 | 深層学習を用いた橋梁支承損傷の自動検知に関する検証 |
| Nikesh Maharjan | Bridge damage recognition from structural acceleration data using machine learning |
| 滝勇太 | 機械学習技術を活用した低圧ガス導管被害推定手法の検討 |

13:15-14:15: 基調講演 座長: 鈴木崇伸

- | | |
|-------|---------------------------|
| 藍檀オメル | 琉球諸島における地震および津波のリスク |
| 山崎文雄 | リモートセンシングによるインフラ施設の被災状況把握 |

14:25-16:13: セッション3 座長: 小野祐輔

- | | |
|------|---|
| 石井洋輔 | 高架橋における地震応答観測技術の現地観測実験 |
| 山本鐘太 | 既往3地震における長周期地震動の特徴とエネルギー関連・貯蔵タンクのスロッシング予測 |
| 梶田幸秀 | 複数回地震動作用時における橋台背面アプローチ部の沈下に対する検討 |
| 柴山淳 | RC 構造物の付着特性の解明に対するレイリー散乱光分布型ひずみセンサの適用 |
| 寺嶋幹裕 | 2016 年熊本地震の橋梁添架管路被害に係る地盤震動の特徴 |
| 福嶋孝啓 | 数値解析によるロッキング柱を有する鋼製ラーメン橋脚の耐震性評価に関する検討 |
| 劉曉姣 | 橋桁に作用する津波漂流物の動態のモデル化に関する一考察 |
| 藤原由起 | 断層変位を受けるトンネルの耐変位評価手法の確立に向けた各パラメータの感度解析 |
| 山口和英 | 断層変位が作用するボックスカルバートの載荷実験 |

16:20-18:20: セッション4 座長: 梶田幸秀

- | | |
|------|--|
| 竿本英貴 | 微動アレイ探査における地震計設置場所選定プログラムの開発 |
| 堀内浩貴 | 破壊された礫から探る過去の巨大地震の規模推定についての実験的研究 |
| 金田一広 | 浮型格子状地盤改良と補助工法による沿岸域の液状化対策 |
| 野口亮輔 | 2018 年北海道胆振東部地震における医療機関のライフライン被害と医療機能低下の関係 |
| 篠原聖二 | 2018 年 6 月に大阪府北部で発生した地震におけるリアルタイム地震被災度推定システム |

の検証

山田岳峰
岩田直泰
片桐信
鈴木博人
白石萌美

東京都区部東部における長距離道路トンネルの震災時の整備効果と課題
鉄道用地震情報公開システムの動作状況と地震動推定精度の検証
2018年7月西日本豪雨による愛媛県大洲市におけるHPPE管路の浮上・沈下挙動調査
東北・上越・北陸新幹線における早期地震検知システムの変遷と海底地震計の導入
適切な災害対応のための災害覚知技術の性能水準の検討

1月12日(土) 琉球大学地域創生総合研究棟 1階多目的室

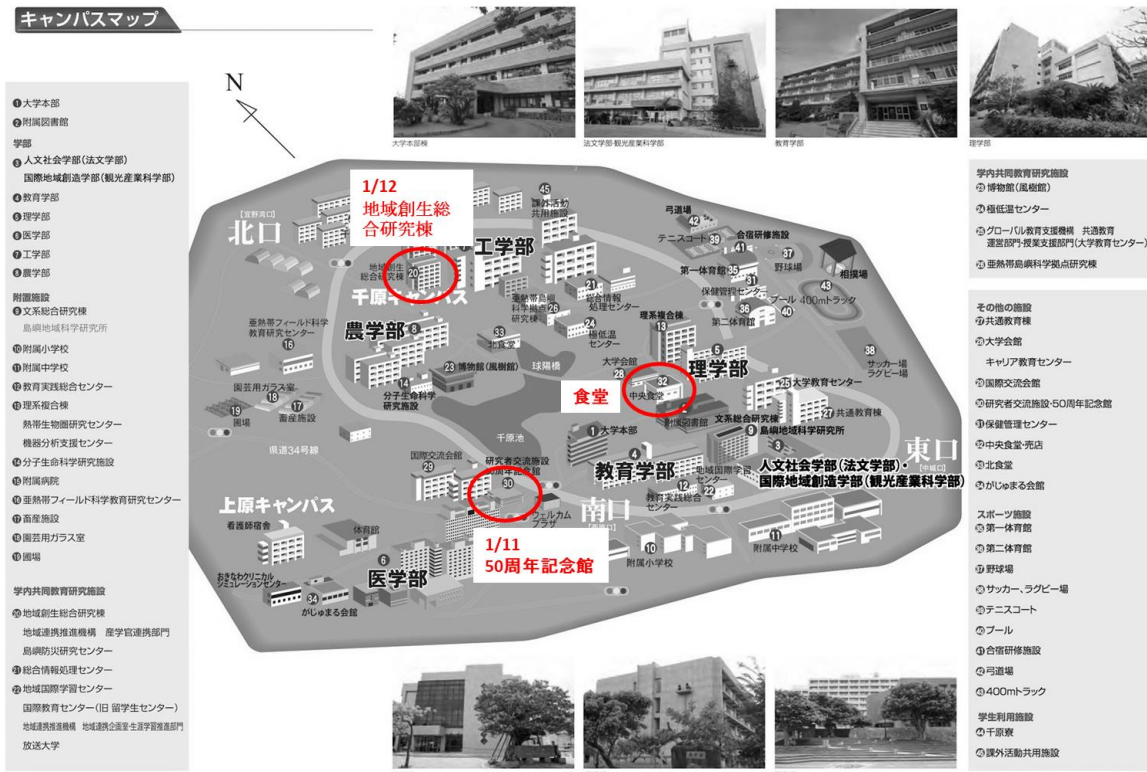
9:00-10:48: セッション5 (断層変位) 座長: 清野純史

長坂陽介 断層変位に伴うフリグステップを考慮した熊本地震の強震動シミュレーション
 鎌田泰子 水道管路の断層・地盤変状対策に関する現状と課題
 岸正蔵 耐震型ダクタイト鉄管による断層横断管路の簡易設計方法の研究
 小田圭太 耐震型ダクタイト鉄管を用いた断層対策管路の設計事例
 長谷川延広 断層変位を受ける埋設鋼管の設計式の提案
 西川源太郎 断層変位を受けた水道配水用ポリエチレン管の挙動解析
 有賀義明 地下浄水池に連結された管路の地震時応答の評価に関する基礎的検討
 鈴木秀弥 断層を横切る地中埋設管の挙動に関する数値解析的研究
 田中努 断層を横断するシールドトンネルと水道幹線の対策検討に関する考察

11:00-12:48: セッション6 座長: 丸山喜久

柳瀬匡雄 機械学習手法ごとの液状化発生地点の予測結果の比較
 君塚遼 汎用性の高いハザードマップの可視化アプリのための浸水深データ登録システムの構築
 五十嵐翼 東北地方太平洋沖地震時のデータに基づく上水道システムの復旧予測に関する検討
 菊地俊紀 粒子法を用いた自動車の漂流実験の再現に向けた基礎検討
 古市直也 道路画像の深層学習を用いた路面ひび割れ状況の把握に向けた基礎検討
 瀬崎陸 深層学習による画像判別モデルを活用した地震後の道路変状把握シミュレーション
 小野祐輔 2018年インドネシア・スラウェシ地震の現地調査報告
 鈴木崇伸 上下水道の維持管理に関する一考察
 永田茂 リアルタイム推計地震動分布の公開情報を用いたインフラ・ライフライン施設の被害推定

12:48- : 閉会の挨拶 永田茂 副委員長



講演集ダウンロードページ (シンポジウム期間のみ利用可能)

<http://ares.tu.chiba-u.jp/marulab/sympo2019/index.html>